

令和2年(2020年)8月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2020年8月 数量 (トン)	2020年8月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	人参	北海道産中心の入荷でした。北海道産は前倒しの出荷となり、入荷量はかなり増加しましたが、平均単価は大幅に高く推移しました。	640	151	127%	159%
2		キャベツ	群馬(嬬恋)県産中心の入荷でした。7月の長梅雨による日照不足の影響により、出荷量が少ない中集荷に努め、入荷量はかなり増加しましたが、平均単価は大幅に高く推移しました。	927	167	132%	166%
3		トマト	北海道産、青森県産中心の入荷でした。長梅雨による日照不足から猛暑続きとなった影響で、出荷量が少なく入荷量はやや減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	624	349	95%	144%
4		なす	群馬県産、栃木県産中心に福島県産、山梨県産の入荷でした。7月の天候不順の影響により、入荷量はやや減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	108	428	91%	131%
5		たまねぎ	北海道産中心の入荷でした。北海道産の出荷遅れと前段産地の出荷が早く終了した影響により、入荷量はかなり減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	524	115	74%	134%
6	果実	西瓜	山形県産、長野県産、青森県産、神奈川県産の入荷でした。主力の山形県産が豪雨の影響により、入荷量は大幅に減少しました。猛暑続きで旺盛な需要により、平均単価は大幅に高く推移しました。	245	273	48%	172%
7		デラ	山形県産中心の入荷でした。主力の山形県産は豪雨の影響により、入荷が減少しましたが、被害が軽微な取引産地からの集荷を強化し、入荷量は大幅に増加しました。平均単価はかなり高く推移しました。	30	923	156%	131%
8		幸水	主力の関東近県産が天候不順の影響による結実不良や小玉果などで出荷が伸び悩み、入荷量は減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	253	505	80%	135%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+-)0~2%
- ②やや増加(減少):(+-)3~10%
- ③増加(減少):(+-)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+-)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+-)51%以上